

【別紙】

ワークショップの結果 【会場：亀ヶ森振興センター】

【テーマ】

住み続けたいと思える大迫にするには

分類	課題と感じていること	どうすれば解決に向かえるか
大迫高校	- 大迫高校の存続を希望する。 - 住み続ける大迫にするため県教委は来年度も募集する。	〇Bだけでなく全域で取り組んで行く。 - 地元の住民が高校の様子を知らないため積極的に参画する。 - 中学生や父母を引きつける特色ある教育内容。 - 大迫地域以外の花巻市民の関心を増やす。
医療センター	大迫診療センターが継続して欲しい。	大迫診療センターのセンター長の活動をもっと住民に公表して受診者を増やす。
イベント	- イベントを開催しても人が集まらない。 60歳以下の世代の地域行事等の参加が少ない。 - 定まった人しか来ない。	- イベントは一発ではなく継続を。 〇曜日〇時の行事を考える。
農業の担い手	- 農業の担い手不足。 - 農業の担い手が少ないので将来への意欲がわからない。 - 米を増産しても人手がいない。 - 人がいるはずなのに来るわけがない。（酪農農家）	- 農業は個人営農が限界となると思うので企業（会社）が営農に参入する仕組みをつくる。 - 農業者の所得をサラリーマン並みに。 - 農業法人の強化、企業の参入で雇用を増やす。
コミュニケーション	近所同士の会話がほしい。	地域内のイベントを開催する人（イベントター）が少ないので、コミュニティ会議ができるだけイベントを起こす。
雇用	若い人の働く場所がほしい。	- 働き方改革、年休なども取得しやすい職場にして欲しい。 - 働く場所の創設。 - 働きやすい職場。
鳥獣被害	鹿や熊の出没。	少人数で鹿の解体イベントを企画する。
草刈り・水見	30ヘクタールの法人事務局長しているが、草刈りや水見が大変だ。	

分類	課題と感じていること	どうすれば解決に向かえるか
災害	・稗貫川の水害対策。 ・防災マップが見つらい。 ・過去に床下浸水が発生した。	・防災マップについては担当課へ報告する。
子育て	・子どもが遊ぶところがない。	・若者主体で子どもが遊べるイベントを企画する。 ・大学生によるイベントの企画を依頼する。
医療	・小児科がない。 ・病院が少ない。	
人口減少	・跡継ぎがいらない。 ・人口減少が深刻。 ・そもそも子どもがいらない。 ・地域にいる若者は独身が多い。	
交通	・交通の便が悪い。 ・交通手段が少ない。（学校に迎えに行かなければならない土日部活時） ・通学路の草刈りがされてないところがあり危険である。	・行政と連携して住民主体の移送サービスを検討する。 ・環境保全活動の実施。
買い物	・買い物する店が少ない。 ・外食場所が少ない。	
独居	・1人暮らし高齢者の増加。 ・ひきこもり対策。	・お話励まし派遣券の創設。
その他	・会合やイベントに人が参加してくれない。 ・集まっておしゃべりする場所がない。 ・銀行がない。	